

第4回 幼児教育実践学会
口頭発表
～幼稚園における学校評価～



平成25年8月24日（土）

学校法人ひまわり学園

ひまわり幼稚園

第4回 幼児教育実践学会 口頭発表
(25年度大分県教師研修大会で分科会発表資料)

学校法人ひまわり学園
ひまわり幼稚園

主 題 特別分野 研究俯瞰図 特別分野
テーマ 幼稚園における学校評価について

1 主題設定の理由

保育の実践は、保育の計画と評価の在り方に支えられている。保育の実践の質は、計画と評価の質に比例して高まっていく。私たちの保育の計画や評価が、いつも、型どおりのものであったり、子どもたちの実態にまったく合っていなかったり、幼児期の発達にふさわしい計画や評価になっていないと、子どもたちの園での姿は、決して生き生きと豊かなものにはならないはずである。保育の計画・実践・評価を、別々に考えるのではなく、総合的に、一体的に、とらえる保育の組み立て方が求められる。つまり、計画と評価が保育の始めと後にあるのではなく、それは、今、そこにいる子どもたちの理解を深め実態把握を確かにこなっていく方法であり、保育の実践を、ていねいにとらえていくプロセスと考えることが必要である。従って、計画が先行するものではなく、その場その場の子どもたちの状況によって柔軟に変えていける計画性も大切な要点であるし、保育の評価は、子どもたちの姿によって具体的に示され、実践に沿って分かりやすく説明されなければならない。常に保育の実践そのものを一番大切に、子どもの姿を基に語ることでできる保育であることを失ってはならないことから学校評価における自己評価を研究項目に取り上げた。

2 研究の手法について

年間のカリキュラムが一年間で達成できるよう、月のカリキュラム・週のカリキュラム・日のカリキュラムで計画を立て日々の保育の振り返りをし、職員会議や園内研修、各年齢の反省でも教育の在り方を省察し、話し合いながら評価を行っている。

しかし、幼稚園独自の教育目標に照らし合わせながらの反省等ができていない現状から、教育目標やそのほかの幼稚園運営について、目指すべき目標を設定しその達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価することにした。また、幼稚園としての組織的・機能的な改善を図ることを踏まえ、幼稚園の実情に即した評価項目や指針の立て方、評価の実施やその結果の公表等について研究した。

3 自己評価の取り組みについて

(1) 私立幼稚園の実情に即した自己評価の作成と評価について

平成23年度幼稚園教育課程大分県協議会でひまわり明野幼稚園が研究した内容を自己評価の項目に設定。その自己評価項目を実践してきた。職員が園の保育内容をより理解するために、園の教育目標がどの領域にあてはまるのか、子どものどんなところを育てたいのかを話し合い、計画とねらい（意図）の関連付ける自己評価を、個人の自己評価、学年の評価に分け学期ごとに行った。

※P3～5 参照（5歳児の自己評価）

(2) 自己評価の公表について ※P6～7 参照

一年間取り組んできた自己評価を園長が集約し保護者に公表した。保護者に対して、教員自身が教育方針や保育活動、資質向上など幼稚園運営の状況について評価し、その結果に基づいて改善を図る取組みを理解していただく

(3) 保護者からのアンケート実施 ※P8 参照

自己評価の公表することで、保護者に教育についての考えを理解していただいたうえで、園の教育・運営についての感想や要望を聞く

4 自己評価を行っての考察と課題

(1) PDCA サイクルの具体的な活用

3学期までの自己評価と保護者向けアンケートとの時間の流れがかみ合わない
PDCA サイクルをあてはめるにあたって、学期ごとでの改善は難しいように思える。1年間の流れの中で職員も成長しながら子どもたちの成長の反省を上げ次に生かす PDCA サイクルの活用が望ましい

1年間の流れの中で職員も成長しながら子どもたちの成長の反省を上げ、次年に生かす自己評価にしたい

(2) 同僚性を高め合う必要性

こちらの意図と教員が考えた意図との違いがあった

教育への共通の展望をもち、共に専門家として学び合えるような人材の養成

(3) 保護者向けアンケートの対応

保護者から頂く意見が運営部分である場合、学園自体の考えや問題になるので難しい

まとめ

- ・学校関係者評価にどのようにつなげていけば良いのか

私立幼稚園の園の評価をしていただくのに、こちらの教育の意図をどのように学校関係者委員に伝え理解していただき評価をいただかなければいけない
学校評価委員会の立ち上げについて今準備段階である

- ・第三者評価について

幼児教育研究機構が考えている私立幼稚園に即した第三者評価の実施を検討中

5歳児（1学期）自己評価結果（達成状況） [A:達成している B:概ね達成している C:あまり達成していない D:達成していない]

教育課程(カリキュラム)	評価項目・指標	取り組み状況	評価	改善の方策
<p>教育目標</p> <p>美しいものに 感動できる子ども</p> <p>身の回りの環境や動植物に興味を持ち、性質を知る中で不思議さに気付いたり試しながら楽しめるようになる。</p>	<p>身近な環境（自然等）に気付き感動したり、試したりしている</p>			
<p>自分の考えや発見を 表現できる子ども</p> <p>自分のイメージや考えを持ち、自信を持って思いを伝えたり、筋道を立てて伝えられるようになる。</p>	<p>集団遊びや経験活動の中で自分の意見が言える</p>			
<p>友だちと協力して意欲的に 行動できる子ども</p> <p>友だちと協力し合う中で、ひとつのものを作りあげる満足感を味わったり力を合わせて遊びを展開できるようになる</p>	<p>友だちと意見を出し合いながら相手の気持ちを理解できる</p>			
<p>個性豊かで 創造的な子ども</p> <p>自分なりのイメージを持ち、繰り返し試したり、工夫して取り組めるようになる。</p>	<p>自分なりのイメージを広げ、伸び伸びと表現している</p>			
<p><基本的な生活習慣></p> <p>身の回りのことに意識を持ち、進んで取り組んだり、最後まで落ち着いて取り組めるようになる。</p>	<p>進んで挨拶ができています</p>			
	<p>自分の持ち物の始末ができています</p>			
	<p>片づけを進んで行うことができる</p>			

5歳児（2学期）自己評価結果（達成状況）【A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない】

教育課程(カリキュラム)	評価項目・指標	取り組み方法	評価	改善の方策
<p>教育目標</p> <p>美しいものに 感動できる子ども</p>	<p>自然の美しさに触れ、感動したり自然物を用いて楽しさを感じている。</p>			
<p>自分の考えや発見を表現 できる子ども</p>	<p>集団遊びや経験活動の中で自分の意見が言える。</p>			
<p>友だちと協力して意欲 的に行動できる子ども</p>	<p>友だちとのつながりを大切にしながら、一緒に遊びや活動をする楽しさを感じている</p>			
<p>個性豊かで 創造的な子ども</p>	<p>見たこと、感じたことを色々な方法で表現することが出来ている。</p>			
<p><基本的な生活習慣></p>	<p>適切な休息の取り方、汗の始末、衣服の調節が出来ている。</p>			
	<p>人の話をよく聞いて行動することが出来ている。</p>			

5歳児（3学期）自己評価結果（達成状況）【A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない】

教育課程(カリキュラム)	評価項目・指標	取り組み状況	評価	改善の方策
<p>教育目標</p> <p>美しいものに 感動できる子ども</p>	<p>植物の成長や天候・気候など に関心を持ち、性質を知る中で 不思議さに気づいたり試したり し、楽しさを感じている。</p>			
<p>自分の考えや発見を 表現できる子ども</p>	<p>自分の思っていることを筋道 を立てて話せる。</p>			
<p>友だちと協力して意欲的 に行動できる子ども</p>	<p>みんなで一つのものを作り上 げることに楽しさを感じている。</p>			
<p>個性豊かで創造的な 子ども</p>	<p>自分の遊びに必要なものを考 えて工夫しながら楽しむことが 出来る。</p>			
	<p>いろいろな経験を通し、イメー ジをふくらませ、表現する楽しさ を感じている。</p>			
<p><基本的な生活習慣></p>	<p>生活に必要なものや自分の生 活に応じて生活行動のとり方を 身につけている。</p>			
	<p>生活や遊びの中で文字や数に 関心をもっている。</p>			

平成 25 年 3 月 14 日

保護者の皆様

ひまわり幼稚園
園長 川原 恒太郎

学校評価について

ひまわり幼稚園では、教育活動や教職員の資質向上などの幼稚園運営の状況について自ら評価し、その結果に基づいて改善を図る取組みを行っています。

教員全体で 1 学期 2 学期と各学年の自己評価や、全体で共通重点課題に対する課題設定を個人の自己評価として取り組んできました。その総合の結果として集約いたしましたのでお知らせいたします。

これは学校評価（自己評価）の取組みになります。評価指標や取組・評価についてや、園教育についてご感想・ご意見・ご要望等ありましたらアンケート用紙にお書きください。明日より職員室前にアンケート回収ボックスを設置いたしますのでご提出よろしく願いいたします。

幼稚園における学校評価ガイドライン 文部科学省 (幼稚園における学校評価の 3 つの目的)

- 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

評価 : A 達成している B 概ね達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価項目	評価指標	取組の状況	評価 (A~D)
1 教育課程・指導	(1) 様々な遊びを通して、人間関係の基礎を培う	各年齢とも日々の幼稚園生活の中で、人間形成の基礎基盤の確立に向けて取り組めるよう、遊びを中心とした活動を考えている。自由遊びなど異年齢のかかわりがもてるよう年間を通してコーナーやあそびを設定することで、友達のかかわりが段階的に深められるあそびを意図的に作り、友達と協力する楽しさや充実感を味わえるよう配慮した取り組みを行っている。	A
	(2) 年間計画に沿って、成長の記録を行い、環境構成やかかわり方を反省して教育課程を修正している	年間カリキュラム・月案・週案で子どもたちの成長に合わせたカリキュラムを組んでいる。日案では環境構成や活動の記録・反省・考察を行っている。また、各学年で日々の活動の反省や考察を記録している。幼児の成長の記録を記載し教育課程や、教育目標に沿った保育を展開している。	A
2 子育て支援	(1) 「親と子の育ちの場」としての役割や機能の充実	各学期の参観や行事で幼児の成長を感じていただけるように、参観・行事などは工夫し取り組んでいる。また、保護者向けに幼児教育の展開の仕方を説明することで、幼児の育ちとともに親の育ちにもつながると考えている。	B
	(2) 家庭や地域への情報を発信して、連携・協力して教育活動にあたる	保護者への情報発信として、月の子どもたちの成長のねらいなどを学年だよりで知らせている。日々のクラスや学年の活動はクラスだよりで知らせ、自由遊びや日々の様子は写真を用いて定期的にひまわりだよりで知らせるよう取り組んでいる。また個人の定期的な成長を知らせるために連絡ノートで分かりやすくお知らせしている。このノートは保護者との相互育ちノートとして活用されている。保護者の会を中心に保護者と連携・協力する行事を通じ教育活動に取り組んでいる。また子育て支援事業として預かり保育の実施や、未就園児への地域の教育機関としての子育て支援を行っている。地域への情報発信としては取り組みができていない現状があるので改善が必要である。	B
3 安全管理	(1) 子どもの事故の未然防止につながる実践的な態度や能力の育成	初めて使う遊具などは、事前に使い方や危険性などについて全体・学年・クラスなどで子どもたちに指導している。また、保育者が固まることなく全体を見渡すことで危険回避を行っている。危険なことや怪我につながる場面では、保育者だけでなく年長児や同学年の子たちが注意し合う環境に心掛け始動している。また、体育遊びを中心に体を動かす楽しさを知らせるとともに、運動能力の向上に努めている。 今年度は防災（火災・震災・津波・防犯）訓練を様々な想定で行うことで、実践的な態度や能力が身についた。	A

ひまわり幼稚園学校評価保護者用アンケート用紙

今年度、幼稚園の教育にご理解とご協力ありがとうございました。
子どもたちの教育を第一義に考え、教員一同ひまわりの教育に取り組んできました。今年度最後になりますが、保護者の皆様から忌憚のない声をいただきたいと考えています。園の教育・運営についてご感想・ご意見・ご要望がありましたらご記入をお願いします。アンケートの回収につきましては、職員室前にアンケート回収ボックスを設置させていただきますのでご提出ください。

【 記入欄 】

ご協力ありがとうございました。